

平成30年度予算(案)がまとまりました

平成30年度の一般会計当初予算規模は1,246億4,920万円で、対前年度比79億4,849万円の増、6.8%のプラスとなりました。また、特別会計を含めた予算規模は1,833億8,029万円で前年度に比べ18億7,174万円の増、1.0%のプラスとなっています。なお、この予算案は、現在開会中の議会で審議されています。

固財政計画グループ ☎4566-2521

●編成方針

本区の二大財源の一つである特別区民税は、人口の伸びによる納税義務者数の増加が過去5年間で1万6千人に達するなど、歳入環境が大きく好転しているにもかかわらず、ふるさと納税制度による区民税の流出増加が止まらず、その影響が無視できない状況となっています。さらに、特別区交付金の原資となる法人住民税の一部国税化や、地方消費税交付金の清算基準見直しによる東京を狙い撃ちにした不合理な税制改正など、国が進める税源偏在是正の動きが区財政に深刻な影響を与えています。

こうしたなか、30年度一般会計予算の規模は過去最大となり、来たる31年に開設される予定の「Hārezā 池袋」を始め、「国際アート・カルチャー都市」を推進し、未来へ大きく飛躍するための準備の予算となりました。さらに、「子どもと女性にやさしいまちづくり」を中心に据えた様々な新規拡充事業を実施する、選択と集中を進めた予算となり、「子育て」「福祉」「保健」など、区民生活の基盤をなす分野に大きく重点を置く「住みたい」まちの実現に向けた施策の充実を最優先に取り組む予算となりました。

●持続可能な行財政運営の確立

区民生活を支える様々な施策の充実を図りつつ、文化にぎわい拠点の整備など、豊島区の将来に向けた投資を拡大していくためには、安定的で持続的な財

政基盤の構築が不可欠です。そうしたなか30年度予算においても、これまで進めてきた「子どもと女性にやさしいまちづくり」「文化によるにぎわいを生むまちづくり」の成果が、課税人口の増加などによる歳入増という形になって現れ、5年連続で財政調整基金の取り崩しをせずに予算を編成することができました。今後も「未来戦略推進プラン2018」を実効あるものとするため、総点検の実施、人件費の抑制、公民連携の推進など、構造改革に引き続き取り組み、安定的で持続可能な財政運営の確立を目指していきます。

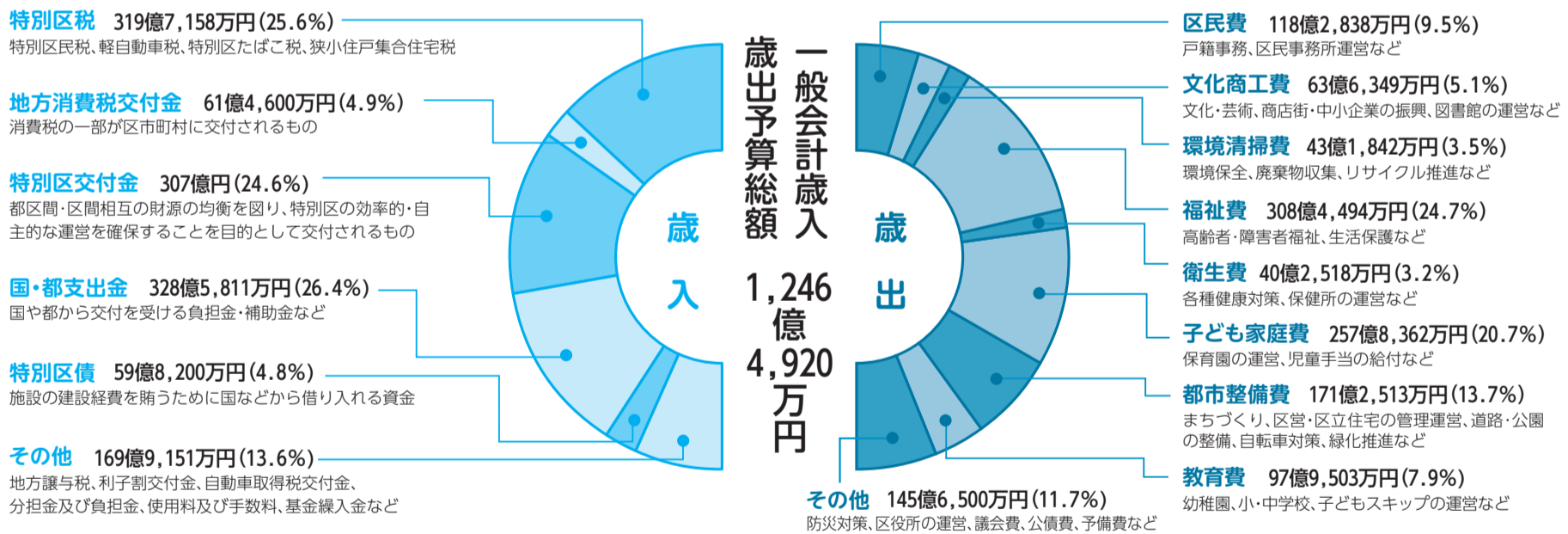
●閲覧できます

予算(案)の概要は、行政情報コーナー、区ホームページで閲覧できます。

平成30年度会計別予算			
区分	平成30年度	平成29年度	増減
一般会計	1,246億4,920万円	1,167億 71万円	6.8%増
特別会計	587億3,110万円	648億 785万円	9.4%減
国民健康保険事業会計	323億 862万円	373億2,266万円	13.4%減
後期高齢者医療事業会計	61億4,121万円	59億7,681万円	2.8%増
介護保険事業会計	202億8,128万円	215億 838万円	5.7%減
合計	1,833億8,029万円	1,815億 855万円	1.0%増

平成30年度予算

※()内は、歳入・歳出予算それぞれの構成比。
数値については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。



平成30年度予算を1万円に置き換えると、このような使い道になります

高齢者・障害者福祉、生活保護など 3,060円	保育園の運営、児童手当の給付など 2,033円	幼稚園、小・中学校、放課後対策(子どもスキップ)など 821円	まちづくり、防災など 732円	広報、電算、その他区役所の運営など 704円	公園・児童遊園、緑化など 379円
環境対策、清掃、リサイクルなど 347円	道路、自転車対策など 335円	文化、スポーツ、図書館など 329円	健康づくり、保健所の運営など 323円	借入金の返済 237円	商工業・観光の振興、勤労者福祉など 177円
戸籍事務、区民事務所の運営など 167円	各基金の積立(貯蓄) 116円	税を集めるため 88円	区民ひろばの運営など 81円	区議会の運営 55円	選挙・監査 16円

●平成30年度予算重点事業は「広報としま 4月1日号(特集版)」に掲載します。

●「広報としま」は、新聞折り込みのほか区民事務所などの区施設、区内の駅、公衆浴場、ファミリーマート(区内全店)などで配布しています。ご希望の方には個別に配達いたします。